

事業コード	04040203			政策コード	04	政 策 名	秋田の魅力が際立つ 人・もの交流拡大戦略				
事 業 名	第 7 7 回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催事業			施策コード	04	施 策 名	「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大				
部 局 名	観光文化スポーツ部	課 室 名	スポーツ振興課	指標コード	02	施策目標(指標)名	全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の発掘と育成・強化				
				班名	冬季国体推進班	(tel)	1246	担当課長名	吉井和人	担当者名	土門久仁子

評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容

事業年度

令和03年度

～

令和03年度

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図ると共に、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的に、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者の共催により毎年開催されており、2 0 2 2 年（令和 4 年）2 月の第 7 7 回国民体育大会冬季大会スキー競技会については、本県鹿角市を会場に開催するものである。

2．住民ニーズの状況
ニーズを把握した対象
受益者 一般県民 （時期： R01 年 08 月）
ニーズの把握の方法
アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
その他の手法 （具体的に）
ニーズの具体的内容
「あきた鹿角国体 2 0 1 3 」の成功等による蓄積された運営ノウハウや会場の運営の効率化などから、日本スポーツ協会及びスポーツ庁から再び開催して欲しいとの意向があった。なお、鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技会の全種目（ジャイアントスラローム・スペシャルジャンプ・クロスカントリー・コンバインド）が同一箇所で開催可能な、全国的にも類を見ない適地である。

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）
「スポーツ立県あきた」を宣言した秋田県は、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで多くの人々の交流を生み共感し合い社会の絆を強くしていくことを目的の一つに掲げており、冬季国体運営の成功によって、スポーツの価値を享受できるものである。

(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4．目的達成のための方法

事業の実施主体

主催者（（公財）日本スポーツ協会、文部科学省、（公財）全日本スキー連盟、秋田県、鹿角市）

事業の対象者・団体

大会参加者（選手、監督、役員等）

達成のための手段

全国から集結する選手・監督、役員等が大きなトラブルもなく無事に大会に参加し、各県が互いに実力を発揮して競い合える環境を、鹿角市国体実行委員会とともに整備する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性

第 7 7 回国民体育大会冬季大会スキー競技会は、鹿角市での開催が決定しており、県としては、鹿角市国体実行委員会が適正で効果的な運営ができるよう費用負担等を行うものであることから代替手段はない。

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5．事業の全体計画及び財源									単位(千円)
順位	事業内 記	左 の 説 明	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	全体(最終)計画
01	大会運営費（県執行分）	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る実施本部員活動費等	4,479	0	0	0	0	0	4,479
02	大会総務費（県執行分）	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る大会役員・招待者対策事業費等	1,594	0	0	0	0	0	1,594
03	広報費（県執行分）	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る広報物品制作費等	9,083	0	0	0	0	0	9,083
04	宿泊・衛生費（県執行分）	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る医療救護対策費等	504	0	0	0	0	0	504
05	開催市町村交付金（鹿角市執行分）	第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催に係る開催地（鹿角市）への交付金	85,330	0	0	0	0	0	85,330
財源内 記		左 の 説 明	100,990	0	0	0	0	0	100,990
国 庫 補 助 金		文部科学省補助金	20,741	0	0	0	0	0	20,741
県 債			0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		公益財団法人日本スポーツ協会助成金、スポーツ振興くじ助成金等	68,909	0	0	0	0	0	68,909
一 般 財 源			11,340	0	0	0	0	0	11,340

